

給水原価（製造コスト）と供給単価（販売価格）の状況

平成24年度決算に基づく「給水原価」、「供給単価」（※）は次のとおりです。

前年度と比較すると、平成24年度は年間給水量が約376千 m^3 減少しましたが、経常費用が横ばいとなったことから、給水原価が上昇し供給単価を上回りました。

今後はより一層、経常費用の圧縮を進め、効率的な経営となるように努めていきます。

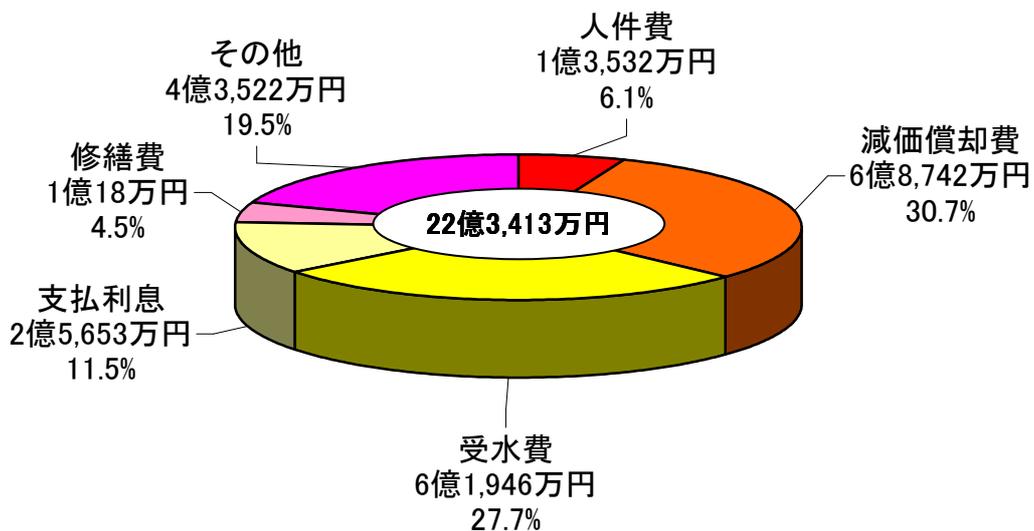
$$\text{給水原価} = \frac{\text{経常費用 } 22\text{億}3,413\text{万円}}{\text{年間給水量 } 11,167,473\text{m}^3} = 200.06\text{円}/\text{m}^3$$

$$\text{供給単価} = \frac{\text{料金収入 } 21\text{億}7,395\text{万円}}{\text{年間給水量 } 11,167,473\text{m}^3} = 194.67\text{円}/\text{m}^3$$

※給水原価：みなさんに水道水をお届けするのに必要な1 m^3 あたりの費用（製造コスト）

供給単価：みなさんの水道料金1 m^3 あたりの平均単価（販売価格）

平成24年度経常費用の内訳



給水原価と供給単価の推移

